

# 小矢部市新年度事業

## 大谷小学校、東部小学校の耐震・大規模改修工事

### 全小中学校のトイレ洋式化も

大谷小学校(校舎・体育館)、東部小学校(校舎)の耐震・大規模改修工事をします。仮設教室をつくり今年度中に完成予定です。2011年9月議会での砂田市議の質問に教育長は「総合計画後期実施計画の策定の中で、2015年度までに終了できるかについて検討してまいりたい」と答えていましたが、大幅に早まわり、2013年度中にすべての学校、保育所、幼稚園の耐震補強は完了します。また全小中学校のトイレを洋式に改修します。



大谷小学校

### 発達障害児支援・相談活動

発達障害児支援を充実し、こたの教室を総合保健福祉センターに開設し、臨床心理士が相談に応じる体制をつくりまします。

保育所では、軽度発達障害児対応保育士が現在7.5人のところ11人に拡充します。軽度発達障害児への対応についての研修会も開きます。

2011年12月議会にてT議員が「発達障害を抱える子が保育園児の1割にもなる」と質問したのを受けて、民生文教常任委員会(当時・砂田喜昭委員長)は議会基本条例に基づいて2012年2月6日に専門家から意見を聞く参考人質疑を、5月6日には香川県丸亀市で先進地視察を行いました。これらの経験をもまえて砂田市議も昨年6月議会一般質問で、臨床心理士などとの連携や相談体制などのレベルアップを求めています。

### 学童保育 小学6年生まで

放課後児童クラブ(学童保育)をいするに、おおたに第1・第2、つぎわ、とうぶ、かんだの6クラブで実施します。またおたにを拠点として土曜日開設します。

新年度から対象学年をこれまでの小学3年生までだったものを、小学6年生までに拡大します。

石動青葉保育園で実施している学童保育にも補助をします。

### 道路照明灯をすべてLED化

自治会や市が設置している道路照明灯2600灯をすべてLED化します。今年11月以降に完成する予定で、自治会が負担している電気料、維持費用などが軽減されます。

### 個人住宅の耐震ルーム シェルターに補助

2011年9月議会にて砂田市議が求め、産業建設部次長は「老朽化したものについては順次LED化したい」と答えていましたが、今度は水銀灯を除くすべての道路照明灯をLED化します。

砂田市議が2012年3月、6月議会にて取り上げていた個人住宅の耐震化促進のために、耐震ルーム(部屋単位の補強)に補助率1/2、上限30万円、耐震ベッド・シェルターに上限20万円を補助します。住宅全体の耐震化には多額の費用がかかり実施がたいへん遅れています。この制度を活用して地震発生時に生命を守るために少しでも安全な住宅にすることが望まれます。

## 市民意見募集結果

### 「駅南側からの利便性向上」が最多

市が昨年11月から12月にかけて行った石動駅周辺整備計画(素案)に対する市民意見募集の結果が3月議会まちづくり特別委員会に報告されました。

- 橋上駅化する
- 南北自由通路、南口改札の3案

石動駅整備の方向性についての設問には、「駅南側からの利用者の利便性の向上」との回答が245件中155件で、最も多くありました。駅周辺に欲しい施設・機能についての設問には、多い順に並べると①「駐車場」(121件)、②「南北自由通路」(110件)、③「南口改札」(93件)、④「エレベーター」(92件)、⑤「公衆トイレ」(80件)、⑥「橋上駅」(79件)、が望まれています。この回答で②、③、⑥のいずれもが「駅南側からの利用者の利便性の向上」に役立つ施設であり、解決すべき課題は、これと駐車場、トイレにあることが浮き彫りになりました。

## どんな石動駅にするか

石動駅周辺整備計画(素案)では①石動駅の橋上駅(概算事業費24億円から30億円)、②駅の南北を自由通路でつなぐ(同13億円から17億円)、③駅の南側(綾子側)に改札口を新設(同9億円から12億円)の3案を示しました。

### 多岐にわたる自由意見

その他自由意見は160件もあり、「橋上化案がよいと思う」、「南口改札案が一番よい。橋上化案では今の砺波駅のような寂しい感じになりそう。自由通路案では南側からの利用者にとつて明らかに面倒くさすぎる(編集部注 駅南から自由通路で一旦北側へ出てから改札を通らねばならない)、これならもとの北側に入る方が楽」など多岐にわたりました。

### 石動駅にもエレベーター

石動駅のバリアフリー化は、JR西日本が来年春までに完成させます。現在の跨線橋に手すりを取り付け、もう一つ新しい跨線橋を福岡寄りに新設し、これにエレベーターを設置します。

### 砂田市議が提案

これらの自由意見を讀むと「駅南側からの利用者の利便性の向上」をどの方法で実現するのか、そのための事業費をどの程度かけるのかは、市民の間で意見が分かれています。砂田市議はまちづくり特別委員会で、それぞれの立場の意見を述べ合せて議論を深め合意点を見いだすようなシンポジウムを開

### シンポジウムで議論を深めては

いてはどうかと提案しました。産業建設部次長は「検討させて欲しい」と答えました。また、新幹線開業に伴う並行在来線の運営に際して砂田市議は①石動金沢間の運賃が高騰する初乗り運賃問題の解消、②石動駅でのみどりの窓口の継続、③長距離列車利用時の無料駐車場(駐輪場裏で線路横)の継続なども強く要望しています。